

「秩父市生涯活躍のまちづくり（秩父版CCRC）」が進んでいます！

市では、国が推進する「生涯活躍のまち構想」に呼応し、「秩父市生涯活躍のまちづくり（秩父版CCRC）」を進めています。取り組みの進捗状況をお知らせします。

豊島区長・秩父市長 合同記者会見



9月11日、高野区長（東京都豊島区）と久喜市長が豊島区役所で合同記者会見を行い、両区市の連携による「生涯活躍のまちづくり」について発表しました。

長年の姉妹都市関係にある豊島区と連携し、若い世代を含めた多世代の移住・地域居住など、「人口を奪い合わない」移住・交流促進事業を進め、お互いに持続発展可能な「都市と地方との共生」を目指します。

記者会見の様子は、おもてなしテレビに配信されているのでぜひご覧ください。

花の木プロジェクト

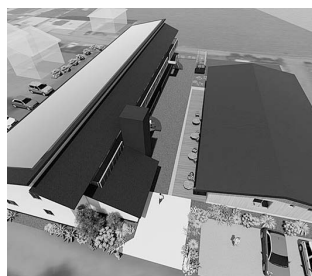
秩父版CCRC「モデル事業（拠点整備事業）」の一環として、公民連携によりサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）等を整備する「花の木プロジェクト」を進めています。



上町3丁目にある市有地（市営花ノ木住宅の未利用部分）を活用し、サ高住および地域開放型交流拠点施設（仮称「秩父市花の木交流センター」）を整備します。

敷地北側に市が交流センターを整備し、南側には公募により選定された連携事業者（株式会社コミュニティネット）がサ高住を整備します。交流センターは木造平屋建て、サ高住は木造2階建て全20戸の規模を予定しています。

交流センターは、サ高住と一体的な運営を行うことにより入居者向けのサービスを提供するほか、地域にお住まいの方にも開放（コミュニティレストラン）の運営、交流スペースの利用など）することです。移住者と地域住民との交流の場としていく予定です。



株式会社 「コミュニティネット」と 「基本協定」を締結



9月11日、公募により選定された連携事業者の株式会社コミュニティネット（東京都千代田区・代表取締役社長 須藤康夫）と市との間で、「花の木プロジェクト」の推進に関する基本協定を締結しました。

解説 秩父版CCRCとは

一般的な「CCRC」は中高年齢層の方を主な対象としているのに対し、秩父版CCRCにおいては、若者や子育て世代も含む多世代を対象とした「総合的な移住政策」として取り組みを推進していきます。

移住者の呼び込みだけではなく、現在お住まいの皆さんも含め市民誰もが生き生きと生涯活躍できるよう、そのために必要なまちづくり機能（住まい、就労支援、医療・介護、コミュニティ参加など）の構築を図るとともに、ちちぶ地域包括ケアシステムの充実を進めていくというものです。

「秩父市生涯活躍のまちづくり（秩父版CCRC）」の進捗については、今後も随時、市報やHP等でお知らせしていきます。

☎地域政策課 ☎22-2823

CCRCとは？

アメリカ発祥の考え方で、高齢者が元気なうちに地方に移住して社会活動に参加し、介護や医療が必要になった場合もケアを受けて暮らし続けることができる生活共同体。

※ Continuing Care Retirement Communityの略。